

1. 基本精神・学校教育目標

志と誇りをもって、いきいきと生きる人間の育成

2. 学校像

挨拶 日本一

—爽やかな挨拶・輝きあう挨拶—

3. 運営目標・評価項目・達成状況

運営目標	短期運営目標	評価項目	評価		運営目標の達成状況
学力の向上 (学習)	<ul style="list-style-type: none"> 学力の向上 希望を大切にしたい進路指導の充実 授業力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 普通科では国・数・英を中心に、丁寧なコース別少人数(習熟度)学習で偏差値の向上を図り、国公立大学15名程度の合格を目指す。工業科では授業の質を高め基礎・基本を定着させ、実社会で生きて働く力を育成し、17年連続就職希望者内定率100%を目指す。 	4	4/5	個別指導や補習の積み重ねによって、偏差値の向上を図り国公立大学合格13名、難関私立大学15名が合格した。しかし、教科の指導力の向上、教育課程や授業展開方法の再検討、授業内容の再構築等の課題があり、今後も関係分掌・学年・担任・教科会との協力を努めていく。工業科では授業の質を高め基礎・基本を定着させ、実社会で生きて働く力を育成し、17年連続就職希望者内定率100%を達成した。
		<ul style="list-style-type: none"> 進学・就職の早期決定(3者懇談, 2者懇談を3回以上)と学年, 進学・就職指導部, 担任と連携し, 面接指導や個別指導を通してコミュニケーション能力の開発をする。 	4		三者懇談や進路希望調査を定期的実施することにより進路目標を決定し, 早い段階から面接・小論文指導に取り組むことで一定の成果があった。
		<ul style="list-style-type: none"> 授業時間数を確保しながら, 10回以上の授業研究を目指し, 教員の授業力を高める。 	4		今年度の研究授業実施は9回。授業力向上につなげるための研修の場として定着しつつある。学習・生徒両面での指導を高水準に維持すべく、「尾道方式」の授業づくりを志向する。
豊かな心の育成 (生活)	<ul style="list-style-type: none"> 係わりきる生徒指導の推進 クラブ活動の促進 特色ある教育内容の創造 	<ul style="list-style-type: none"> 「面倒見よく」「組織的に」「オープンに」をモットーに問題行動に対し, 発生率2%以内を目指す。挨拶・身だしなみ強化月間を年3回実施し, よりよい校風の樹立に, 全教職員が協力して努力する。 	2	2/5	問題行動発生率4.4%という結果になり, 目標達成には至らなかった。しかし, 全教職員が組織的に行ってきた生徒指導の実践が, 挨拶・身だしなみにも確実に現れてきている。これからは, 特定の生徒に対しての個別指導が必要である。特に, 以前のように指導に従わない生徒は非常に少なくなっており, 全教職員によるきめ細やかな指導が重要である。
		<ul style="list-style-type: none"> クラスとクラブで, 1人ひとりよくかかわり指導し, 退学・転学者数10名以下を目指す。 	2		転退学者については16名で, 10名以下を達成できなかった。しかし, 全教職員が生徒1人1人を大切にしく取り組んだ結果が, 転退学者の増加に歯止めをかけている。
		<ul style="list-style-type: none"> 体育祭・文化祭・修学旅行・学習合宿等を感動ある学校行事にし, 新たな特色ある教育内容として「7つの習慣」を導入するための研修を行う。(生徒によるアンケートを実施) 	5		体育祭では90%以上, 修学旅行では全行程を通して78%, 感動する行程別では94%の生徒が満足であるというアンケート結果がでた。学習合宿においては中高一貫・特進コースの生徒の学力向上を図るため, 有効な時間活用により, 学習意欲の向上と効果的な学習方法について理解を促進することができた。
学校態勢の促進 (組織)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒募集の強化 機能的な態勢の推進と人材の育成 説明責任の遂行 	<ul style="list-style-type: none"> 企画・広報室のリードのもと, 全職員が塾中心に小学校・中学校に積極的に働きかけ, 協働して中高290名以上の入学者の確保をする。 	3	4/5	中高の入学者数252名と目標の中高290名以上の入学者の確保を達成できなかったが, 特進コースの入学者が2倍以上増加した。企画・広報室がリードしながら, 地区説明会を頻繁に開催しオープンキャンパスを2回実施するなど積極的に教職員が募集活動を行った。
		<ul style="list-style-type: none"> 会議を最低限にし, 教職員が組織の一員として自発的, 意欲的な動き, 達成感を高めることで人材を育成する。 	4		職員会議をはじめ, 主任者会, 教科主任会など必要最低限に抑え, 生徒との交流の時間が確保できた。各部長・学年主任が様々なアイデアを出し活動的に動いた
		<ul style="list-style-type: none"> 会計等(監査を1回以上実施)を明瞭化して説明責任を果たす。儉約に努めた予算化をし, 信頼の確立を図る。 	4		教頭を中心に諸会計の明瞭化を図り, 会計に対する説明責任の意識を定着する事ができた。

4. 運営理念

即動く、動きながら考える。

教育の創造には、感動が必要である。

1. 基本精神・学校教育目標

志と誇りをもって、いきいきと生きる人間の育成

2. 学校像

挨拶 日本一 —爽やかな挨拶・輝きあう挨拶—

3. 運営目標・評価項目・達成状況

運営目標	短期運営目標	評価項目	評価	運営目標の達成状況
学力の向上 (学習)	・学力の向上	・普通科では国・数・英を中心に、丁寧なコース別少人数(習熟度)学習で偏差値の向上を図り、国公立大学15名程度の合格を目指す。工業科では授業の質を高め基礎・基本を定着させ、実社会で生きて働く力を育成し、18年連続就職希望者内定率100%を目指す。	/	
	・希望を大切にしたい進路指導の充実	・進学・就職の早期決定(3者懇談, 2者懇談を3回以上)と学年, 進学・就職指導部, 担任と連携し, 面接指導や個別指導を通してコミュニケーション能力の開発を図る。		
	・授業力の向上	・授業時間数を確保しながら, 10回以上の授業研究を目指し, 教員の授業力を高める。		
豊かな心の育成 (生活)	・係わりきる生徒指導の推進	・「生徒1人ひとりを大切に」「組織的に」「オープンに」をモットーに問題行動に対し, 発生率2%以内を目指す。挨拶・身だしなみ強化月間を年3回実施し, よりよい校風の樹立に, 全教職員が協力して努力する。	/	
	・クラブ活動の促進	・クラスとクラブで, 1人ひとりよくかかわり指導し, 退学・転学者数10名以下を目指す。		
	・特色ある教育内容の創造	・体育祭・文化祭・修学旅行・学習合宿等を感動ある学校行事にし, 新たな特色ある教育内容として高校1年生に「7つの習慣」を導入する。(生徒によるアンケートを実施)		
学校態勢の促進 (組織)	・生徒募集の強化	・企画・広報室のリードのもと, 全職員が塾中心に小学校・中学校に積極的に働きかけ, 協働して高校260名以上の入学者の確保をする。	/	
	・機能的な態勢の推進と人材の育成	・会議を最低限にし, 教員が組織の一員として自発的, 意欲的な動き, 達成感を高めることで人材を育成する。		
	・説明責任の遂行	・会計等(監査を1回以上実施)を明瞭化して説明責任を果たす。儉約に努めた予算化をし, 信頼の確立を図る。		

4. 運営理念

即動く、動きながら考える。

教育の創造には、感動が必要である。